ワイヤアッパー

W−320

取扱説明書

【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1401

ワイヤアッパー

安全にご使用いただくために

このたびは、ワイヤアッパーW－３２０をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - ・ 輸送中の事故等で破損，変形していないか。
  - ・ 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
（本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の３つのレベルに分類されます。

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

目　次

安全上のご注意

- ここでは、本機を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。
- 作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 危 険

◆ご使用前に各ワイヤロープを調べてください。
１０％以上素線が切断されているもの、直径が７％以上減少しているもの、キンクしたもの、著しく形くずれ又は腐食がある場合は使用しないでください。

◆改造は絶対行わないでください。
◆本機を使用用途以外の用途には使用しないでください。
本機は、荷物の昇降用リフトになります。

⚠ 警 告

◆安全のため、定格荷重を越える荷物を搭載しないでください。
定格荷重以上での使用は、故障の原因になります。

◆搭載前に荷物の荷重バランスを確認します。
◆荷物専用です。荷物の昇降以外に使用しないでください。
リフトに乗って使用しないでください。
◆本機に登ったり、ハシゴなどを掛けてマストの片側に負荷をかけないでください。

◆上昇した荷物の下に入らないでください。
◆操作中は駆動する部品に手を近づけないでください。

◆本機１台分の最大荷重を超える荷物を、２台のリフトを使用して持ち上げないでください。
◆フォークから荷物が動かないよう荷物を固定させ、持ち上げる前に縛ってください。
◆常に荷物はできる限り低い位置で保持してください。
◆荷物を揺らすような運転はしないでください。
◆荷物の動く範囲に人がいる場合は、本機を運転しないでください。
◆本機を伸ばした状態または荷物を搭載したままの状態で離れないでください。
◆本機を移動する場合は、必ず荷物が降下された状態で行ないます。
◆昇降中の荷物を引いたり、引き上げたりしないでください。

◆突風、雨中や嵐の中では作業しないでください。
◆強風時など悪天候の場合は、屋外で使用しないでください。
◆頭上に電線や障害物が無い場所で使用してください。
◆荷物を固定しないまま持ち上げないでください。
◆トラックの荷台など不安定な場所で操作しないでください。

ワイヤアッパー

⚠ 警 告

◆使用前にすべてのブレーキの動作を確認し、すべてのブレーキが確実に動作しないときは運転しないでください。
◆上昇・下降の作業時には周囲に人がいなことを確認してから作業します。

◆修理技術者以外の人は、絶対に分解しないでください。
また、改造は絶対にしないでください。
異常動作してケガをしたり、故障の原因となります。

◆作業関係者以外は、作業場所に近づけないでください。
特にお子様には十分にご注意ください。

◆雨中や本機に水がかかる場所では使用しないでください。

◆使用の前に、すべての部品をチェックして、不足した部品・痛んだ部品がないか、確認してください。
不具合があった場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換してください。

⚠ 注 意

◆水平な地面に本機を設置してください。
不安定な場所は、荷物の落下や転倒により故障やケガをする恐れがあります。
◆各マストに強い衝撃を与えないでください。またマストを無理に引っ張らないでください。
◆昇降時は、キャスタのブレーキをかけてください。
◆本機をご使用いただく前に２～３回空運転を行ない各部に不具合が無いか確認します。特にしばらくご使用にならなかったときは必ず実行します。
◆弊社純正部品を使用してください。
◆適切な服装で作業をしてください。　操作時はヘルメット、安全靴、グローブを着用してください。
ネクタイや袖口の開いた服、編手袋、ダブダブの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
◆能力を超えた作業及び、指定以外の使用はしないでください。
ケガをしたり本機が破損する恐れがあります。
◆作業場所、作業台は常に整理整頓を心がけてください。
安全面だけでなく、作業の能力アップにもつながります。
◆不安定な場所や無理な姿勢で作業しないでください。
転倒してケガをする恐れがあります。

本機特有の注意事項

⚠ 警 告

◆本機は、手動の持ち上げリフトになります。
　定期点検は、クレーンの定期自主検査を参考に検査を実施してください。

◆本機使用の前に、すべての部品をチェックして、不足した部品・痛んだ部品がないか、確認してください。
　不具合があった場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換してください。

◆積載加重を超えたものを載せないでください。

◆作業中の本機の下には近づかないでください。
　積載されたものが落下した場合、ケガを起こす恐れがあります。

◆荷物の重心は、フォークアーム間に来るようにしてフォークからはみ出さないようにしてください。
　また荷物はできるだけ背面をリフトにつけます。

ワイヤアッパー

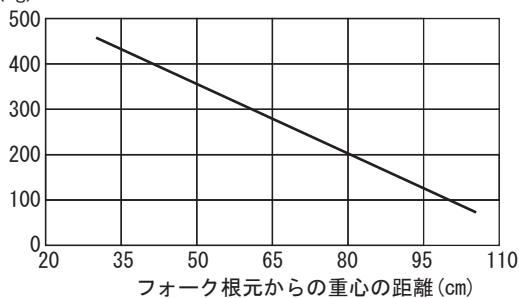
製品の構成

各部の名称

ラベルがはがれたり、汚れて見づらくなった場合には、弊社へご請求ください。
ラベルは必ず同じ場所に貼付してください。

仕　様

品　名		ワイヤアッパーＷ－３２０
コードNo.		S783700
最高高さ	ﾌｫｰｸ上側	3.2m
	ﾌｫｰｸ下側	2.6m
最低高さ	ﾌｫｰｸ下側	0.15m
ウインチ回転		37回転/m
フォーク寸法		L71cmXW54.6cm
フォーク質量		14.5kg
最大積載荷重		455kg
ﾌｫｰｸ延長時最大荷重		90kg
外形寸法		L157xW80xH193cm
収納寸法		L86.4xW80xH193cm
質　量		88.5kg

積載荷重表

標準付属品

品　名	ワイヤアッパーＷ－３２０
本体	○
フォーク組	○
キャスタ	○
ウインチ組	○
取扱説明書	○

ワイヤアッパー

別販売品

品　名	コードNo.	最大積載荷重	用　途
延長爪（フォーク）	S783691	90kg	奥行きのある荷物運搬用
パイプかご	S783705	455kg	パイプ・ダクト等運搬用

製品の構成

延長爪（フォーク）

パイプかご

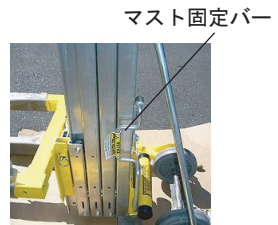
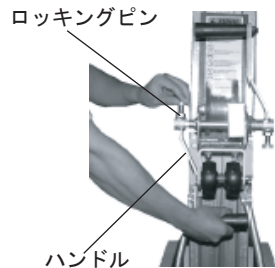
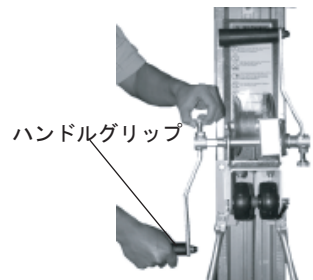
組　立

組　立

水平な場所に本機を設置します。

①本機を固定しているパレットの固定バンドを切断します。
②パレットから本機を地面に下ろします。

③本機を直立状態にします。

マストはマスト固定バーで固定されて出荷されます。
マスト固定の目的は、マスト部分が移動中に上下移動するのを防ぐためです。
①マストを使用するために、マスト固定バーを手前に引いて外します。
②マスト固定バーは、第四マスト手前で止めます。

ハンドルはハンドル収納位置に収納されています。
①ウインチを操作位置に設定するため、ロッキングピンを引き、ハンドルをウインチシャフトから手前に引いて外します。

②内側に向いているハンドルをひっくり返し、黒いハンドルグリップを外側に向けます。
③ロッキングピンを引いて、ハンドルをウインチシャフトに差し込みます。
④ウインチシャフトの穴の位置で、ロッキングピンを放してハンドルを固定します。
⑤もう一方のハンドルにもこの手順を行います。

⑥ハンドルは、１８０度反対側に取り付けます。
純正のハンドル以外で荷物の昇降をしないでください。

ワイヤアッパー

使用方法

移動（荷物なし）

▲ 警 告

◆作業者は機器を操作する前に必ず安全上の注意を十分に読んでください。
本機が破損したり、ケガを起こす恐れがあります。

①本機を動かす前に、マスト組・フォークを下げて、
マスト組をマスト固定バーで固定します。

②本機の脚が折りたたまれた状態にします。

▲ 警 告

◆転倒や作業者のケガを避けるため、リフトは平坦な場所でのみ使用します。

◆ワイヤケーブルを引っ張って移動しないでください。

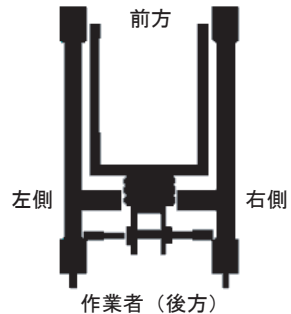
◆本機が傾けられているときに、マストの後ろ側に誰も立たせないようにしてください。

移動（荷物あり）

①本機で荷物を運ぶ時は、本機を安全に移動するために荷物は、もっとも低い位置にします。

②荷物を載せた本機は、可能な限りゆっくり移動します。

③荷物を載せて本機を動かす場合は、
- 障害物がないことを確認する。
- 荷物や、作業者の後ろに人を立たせない。
- 本機をゆっくり動かし、突然の急発進、急停車を避けてください。
- 荷物が固定されており、適切にバランスがとられているか確認してください。
最大荷重は６ページに掲載されています。

警 告

◆転倒や作業者のケガを避けるため、リフトは平坦な場所でのみ移動します。

◆荷物を持ち上げた状態で移動しないでください。
荷物が落下してケガをする恐れがあります。

◆荷物を搭載して移動する時は、フォークから荷物が動くのを防止してください。

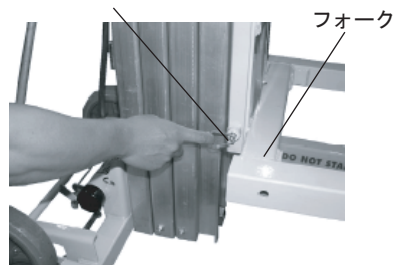
◆リフトを改造して、重心をフォークの先端にかけないでください。
リフトが不安定になり転倒します。

フォークの取付

①フォークの、左右のばね付プランジャピンを引きます。

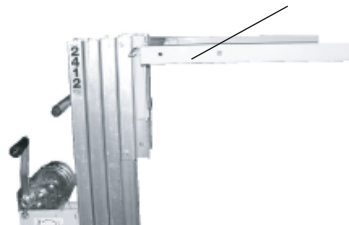
②移動台組にフォークを差込ます。

③移動台組の穴にばね付プランジャピンを差し込みます。

④フォークが抜け落ちないか確認します。

フォークを逆さに取り付ける。

①左右のばね付プランジャピンを引きます。

②フォークを１８０度回転させます。

③移動台組の穴に左右のばね付プランジャピンを差し込みます。

荷物の上昇・下降

⚠ 注 意

◆転倒や作業者のケガを避けるため、リフトは平坦な場所でのみ使用します。

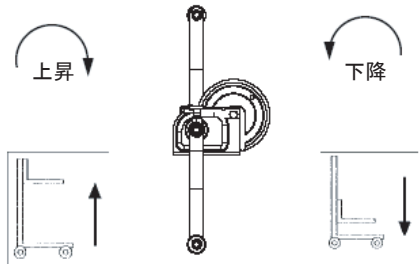
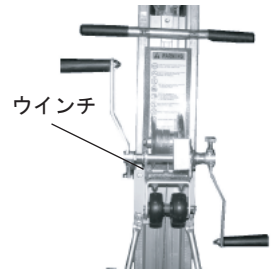
ウインチを使用して、フォークを希望の位置に上昇・下降します。

①ウインチが１/４回転以上回転していれば、安全ブレーキがかかります。

②不安定な荷物は必ずバランスをとって、持ち上げる前に荷物を固定します。

③ウインチクランクを時計回りに回し、荷物を上げます。その間頭上の障害物に気をつけてください。

④荷物をフォークから降ろしたら、ウインチクランクを反時計回りに回してマストを下げてください。

⑤本機に作業者が付いていない場合は、キャスタブレーキをかけてください。

⚠ 警 告

◆リフトには乗らないで下さい。このリフトは乗用ではありません。
人を持ち上げたり動かすのに使わないでください。

◆突風の中で操作しないで下さい。
荷物が急激に落下して荷物の破損、ケガをする恐れがあります。

ワイヤアッパー

脚の折りたたみ

①マスト組・フォークを下げて、マスト組をマスト固定バーで固定します。

②リフトを横倒しにします。

③脚固定金具のばね付プランジャピンを引きます。

④脚を支えてながら、脚固定金具を本体側にスライドさせます。

⑤本体と脚が９０度になるまで折り曲げてください。

⑥脚を９０度で支えながら、脚固定金具のばね付プランジャピンが本体の穴にはまるまで脚側に移動します。

⑦脚固定金具が本体に固定されているか確認します。

⚠ 警 告

◆ リフトを横倒しする際、リフトを落とさないでください。
ケガをする恐れがあります。

◆ばね付プランジャピンが本体の穴にはまっていない限り、直立の収納状態や操作状態でリフトを動かさないでください。

使用方法

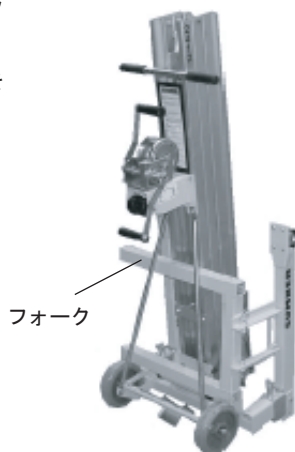
フォークの収納

①両手で、フォークの左右アームについたばね付プランジャピンを引き上げる。

②ばね付プランジャピンを引きながら、フォーク組を稼動台組から引き上げます。

③フォークはリフトの裏側に収納します。

④リフトは縦にコンパクトに収納されます。

⚠ 注 意

◆収納する場合は、稼動台組はマスト固定バーに固定します。

ワイヤアッパー

マスト固定

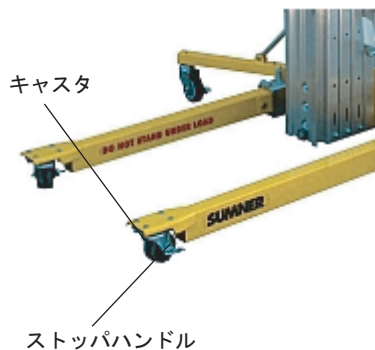
①移動中フォーク又は稼動台組が動かないように固定
　します。

②マスト固定バーを稼動台組の上に移動します。

キャスタブレーキ

フォークの昇降中は、キャスタのブレーキを作動させます。

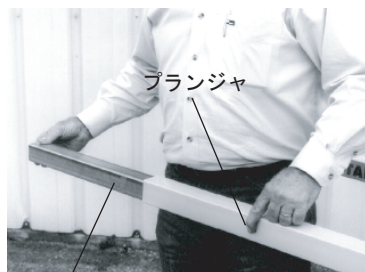
キャスタブレーキを作動させるためには、
①ブレーキロックがかかるまで、ストッパハンドルの
　「ＯＮ」を押し込みます。

ブレーキを解除するには、
①ストッパハンドルの「ＯＦＦ」を押し込みます。

別販売品

延長爪（フォーク）

延長爪（フォーク）を使用すると積載加重が減少します。
減少量は延長長さによって異なります。
６ページの積載荷重表の最大安全荷重を確認して、荷重を設定してください。

延長爪（フォーク）を伸ばすためには、
①各フォークアームのプランジャを押して、プランジャのロックがかかるまで爪を伸ばします。

②延長爪を戻す場合は、フォークアームのプランジャを押してロックがかかるまで爪を戻します。

ワイヤアッパー

パイプかご

パイプ・エアダクト等の運搬に使用します。

①フォークにパイプかごを差し込みます。

②側面の蝶ネジでフォークに固定します。

⚠ 警 告

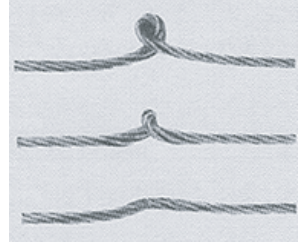
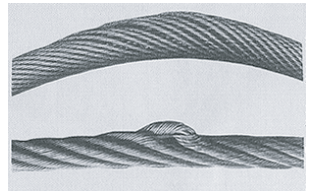
◆荷物の重心は、背面を可能な限りリフト内側に向けて、常にフォークのアームの内側にします。

◆荷物の重心は、標準フォークで７１０mm、延長爪（フォーク）で１０６０mmを超えないでください。

保守・点検

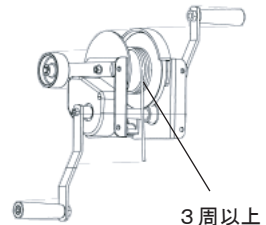
以下の箇所を定期的に点検・清掃し、適時修正または交換を行ってください。

使用前

①ワイヤロープに
・１０％以上素線が切断されているもの
・直径が７％以上減少しているもの
・キンクしたもの
・著しく形くずれ又は腐食
がないか検査します。
もし、ワイヤロープに異常があった場合は、ワイヤロープを取り替えるまでリフトを使用しないでください。

キンク

型くずれ

②ウインチが自由に操作でき、ケーブルがウインチドラムに絡まっていないか確認します。
ワイヤロープはウインチドラムに最低でも３周以上巻いてあること。

③マスト、脚、脚ベース本体に曲がりがないか確認します。

④キャスタが自由に動くか確認します。

ワイヤアッパー

日常点検と清掃

①両側のウインチハンドルに磨耗や曲がりがないか確認します。

②すべてのボルトとナットが締められているか確認します。

③脚、留め具、リフト本体にへこみやキズがないか確認します。

④プーリのハウジングにプーリが回転するのを妨げるキズ（へこみ）がないか確認する。

⑤すべてのラインがすべてのプーリにおさまり、障害なくプーリが回ることを確認する。

⑥すべてのローラが自由に回るか確認する。

⑦マストや稼動台組を点検する。

⑧マストが自由に、スムーズに動くか確認する。ワイヤロープのスライド部に、ゴミや錆がないか確認し、スライド部にシリコン潤滑剤を軽くスプレーする。

⑨８インチキャスタホイールが自由に回転し、損傷がないことを確認する。

⑩留め具の機構を点検し、ネジ付プランジャに少しグリスを塗る。

⑪すべてのマストカバーがリフトについているか確認する。

⑫全体の汚れはやわらかいウエスでふき取り、汚れがひどいときは、水で浸した布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。
その後、乾いた布で拭いてください。

⑬使用後は全体を清掃してください。

⚠ 警　告

◆改造は絶対しないでください。
リフトの改造は、ケガや死につながります。

⚠ 注　意

◆磨耗や損傷したものはサムナー（アサダ）の純正部品と交換してください。
本機が破損したり、ケガを起こす恐れがあります。

６ヶ月点検

①ケーブルにキンク（ねじれ）やほつれがないか検査する。

②ウインチが自由に操作でき、部品が傷ついたり、無くなっていたりしていないか確認する。

③ブレーキ検査
稼動するマスト部分と、土台を最も低い位置から１５０mm手動で上げる。
底にロープがつけられた木製のブロックを使用して、素早くロープを引っ張りテストする。
マスト部から木製のブロックを取り外す。
マストが底に到達し止まる前に、ブレーキはかからなければならない。
安全ブレーキを解除するためには、マスト部分をウインチで上げる。

ウインチ

①左右のウインチカバーがウインチについているか確認します。

②ラチェットドッグやブレーキラチェットが磨耗していないか確認する。もし磨耗があったら、部品を交換します。

③ギアの歯が磨耗していないか確認する。目視で磨耗がなければ、ギヤにモータオイル（１５ｗ３０程度）を塗布します。

④適切なブレーキ調節については、２５ページ、「修理・サービスを依頼される前に」の「ウインチ」を参照してください。

修理・サービスを依頼される前に

●修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしたがって点検してください。
それでも解決されない場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

現　象	原　因	対　策
マストが上がらない。	超荷重 最大荷重４５５ｋｇ以上の物をあげようとしている。	最大荷重４５５ｋｇ以下で使用する。
	フォーク内に積載物の重心が来ていない。	積載荷重表を確認して荷物を動かす。
	マストのローラが回らない。ゴミや障害物がないか確認する。	ローラシャフトを油性洗浄剤やブレーキクリーナできれいにするか、シリコン潤滑剤で潤滑させる。
	ケーブルプーリホイールが回らない。	プーリホイールにキズがあったら、ホイールは滑らかに回転しないので、ホイールを交換する。
	ケーブルにキズがないか確認する。	ケーブルがねじれたり、磨耗したり、ほつれたりしていたら、ケーブルを交換する。
	マストトラックはきれいだか、マストローラーが回らない。	ホイールや搭載している部品が損傷していない場合、ホイールをきれいにし、ショルダボルトを潤滑させる。ホイールが回らない場合、ローラホイール組を交換する。
	マストにキズがないか確認する。	キズのついたマストを交換する。
荷物がゆっくりと降りてくる。	ウンチのブレーキかラチェットドッグが正しく取り付けられていない。	荷物が定位置にあるとき、クランクウインチハンドルを半回転リフトのほうに回し、ブレーキをかける。
ウインチを確認しても、ブレーキがまったくかからない。	ウインチのブレーキかラチェットドッグが正しく取り付けられていないか、損傷、磨耗している。	ウインチを交換する。

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号　：
購入年月日：　　　年　　月　　日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本　社／名古屋市北区上飯田西町3-60　TEL(052)911-7165　E-mail:sales@asada.co.jp

支　店／東京・名古屋・大阪
営業所／札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

www.asada.co.jp

海外事業所
アサダ・タイランド社　(バンコク)
台湾浅田股份有限公司　(台北)
アサダ・アーロンコ マシナリー社　(クアラルンプール)
アサダ・ベトナム社　(ホーチミン)
アサダ・インド社　(ムンバイ)
上海浅田進出口有限公司　(上海)
アサダ USA　(オレゴン州・ユージン)

工　場
犬山工場　(愛知県・犬山市)
第一精工株式会社　(松阪市)
アサダ・マシナリー社　(バンコク)

コードNo. IM0339
A